

今井城学園通信

社会福祉法人 天使園
児童養護施設
今井城学園
青梅市今井 2-1207-8
発行日 2012年2月
第2号

園長あいさつ

小田川広明

新年が明け、早くも2ヶ月がたとうとしています。また、平成23年度はもうすぐ終わろうとしています。そんな中、今井城学園通信の第2号が発行できました。今回は、今年度地域の方々と一緒に行った行事について、お話ししたいと思います。平成23年11月3日に、地域交流会を行いました。地域の中で児童養護施設はまだ知名度が低いため、少なくとも年に1度くらいは足を運んで頂きたいという思いから、毎年実施しております。11時の会場前から子ども達が並んでいました。会場には、たこ焼き・焼きそば・豚汁・綿飴・ゲーム等の模擬店が並びました。(もちろん無料です) また、今年度は小山製菓様の協賛を頂き“みたらし団子”のお店もありました。また、10月22日には、今井小学校の体育館をお借りして、地域の小学生達と縄跳び



大会を行いました。今まで飛べなかった大縄跳びが飛べるようになったりと、楽しいひとときを過ごすことが出来ました。地域の中の児童養護施設として、地域の子供達、保護者の方々が一緒に楽しめる機会や子育ての情報提供が出来る機会を



今後も作っていききたいと思いますので、是非、参加をお待ちしています。

最後に、東日本大震災から1年がたとうとしております。被災地の1日でも早い復興をお祈り申し上げます。

学園紹介シリーズ

No. 2

専門機能強化型児童養護施設

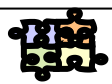
本学園に入所してくる子ども達の抱える問題は、年々多様化してきています。本学園では平成22年9月より東京都の「専門機能強化型児童養護施設」の認可を受け、発達障害や情緒障害を抱えたり、虐待を受けたりした経験のある子どもに、個別のかつ専門的な支援を行っています。今回はその支援の主な内容についてご紹介したいと思います。

- (1) 地域小規模児童養護施設(グループホーム「みずがき」「いぶき」、小規模グループケア地域型ホーム(グループホーム「みき」)を実施すると同時に、本園ユニットの小規模化を図る。
- (2) 各ユニットに対し、個別ケアの充実を図る。
- (3) 精神科医師によるケースカンファレンスを実施する。
(医療法人社団幸悠会 鈴木慈光病院 及び所沢慈孝病院から毎月4回来園していただく)
*次ページに院長 鈴木隆晴医師の寄稿記事を掲載いたします。
- (4) 外部学識経験者による、施設運営向上研修を行う。
(講師 昭和女子大学教授 高橋久雄先生)
- (5) 治療指導員(心理士)を配置し、心理治療・個別対応・グループワーク等の実施。

今井城学園の嘱託医として

医療法人社団 幸悠会 鈴木慈光病院 院長 鈴木 隆 晴

平成 22 年 10 月より、今井城学園に嘱託医として協力させて頂く事になり、緊張した気持ちで 10 月 12 日登園する。初めての状況の中、子供たちに何が出来るのか、専門職である先生方とどのようにラポールを取るか、自分の出来る事は何かなど、色々考え学園に赴いた。早々、小田川施設長より園の概要を説明され、施設を案内された。入所する子供たちにプレジデスを持っていた僕は、子供たちの表情の明るさ、人懐こい仕草に驚いた。皆、明るく挨拶し話しかけてくる。突然の来園にもかかわらず嫌な顔さえ見せない。ここは児童養護施設のはずだが。さらに、ここには学校の友人も遊びにくると説明をうけ驚嘆した。施設は、色々な理由で環境上養護を必要とする子供たちが入所している事は間違いないのだが、子供たちは環境が調整されると、どれほどの力を発揮するか目の当たりにし痛感し、自分の視野の狭さを情けなく思った。さらに学園では、グループホームを開設しており、後日何う事ができた。そこでは、6 人の子供と 3 人の職員が 1 ユニットとなり、共同生活をしている。その中では、一人一人に役割があり、社会の最小単位である家庭が形成され、子供たちが家族の中で育つように成長していく姿を見せていただいた。私は精神科医として、病気になってしまった子供の治療に携わる機会は、少なからずあった。当然病気は治療しなくてはならない。只、その様にならなくてすむ事が、本来の治療であり、そのためには、子供の特性を見抜き、陶冶 訓育教育などにより「生きる力」をつける教育が必要だと思う。この学園には、施設長先生をはじめ各先生が、真面目に一人一人の将来を見据え、チームとなり今の課題にプライオリティーをつけ短期、中期、長期目標を作成し適切な指導と教育を行っている。子供たちには、このシステムは理解できないかもしれない。しかし先生が、子供たちの事を、真剣に考えている事が伝わり、その安心が、子供たちの笑顔や人懐こい仕草に繋がっている事に気が付かされた。その時、僕は何かを提供すると言う事ではなく、子供達からパワーを貰い、先生方から教えていただく立場である事に気が付いた。



職員リレーコラム (^.^) 職員自己紹介 その2

はじめまして。私は、河辺町にありますグループホーム (GH) みきのホーム長をしております為房と申します。GHではより家庭的な養護を目的として、地域に密着した形で、小学生 1 名、中学生 1 名、高校生 1 名の男児と中学生 1 名、高校生 2 名の女児とで児童は 6 人、専任職員 3 名で生活をしています。すぐ隣家は大家さんと言うこともありいつも地域の方々にはあたたかい支援をいただいています。子ども達は、毎日、毎週のように学校の友達と遊びに出掛けます。高校生は、お友達を GH に招いて泊まりがけで遊んだりすることもあります。地域に根差して、また家庭的な雰囲気そのままに子ども達も落ち着いて生活しています。まさしく、「暮らし」といったあたたかな感じがしています。近くにお来しの際は是非、気軽に訪ねて頂ければ幸いです。今後ともよろしくお願い致します。



はじめまして。今井城学園で保育士として働かせて頂いている阿部と申します。今井城学園の本園には、約 30 名の子ども達がいて、毎日元気一杯に過ごしています。今井城学園の子ども達の良い所は、異年齢の子が、時には喧嘩をしながらも、助け合い、笑顔で過ごしている所だと思います。今井城学園では、地域の関わりとして、スポーツ大会を行っています。毎年 1 回、今井小学校で縄跳び大会を行い、今井小学校に通う子ども達との交流を持っています。H23 年 10 月に行われた縄跳び大会では、地域より 27 名の参加があり、とても盛り上がった会になりました。私は、スポーツ大会の係として参加をしましたが、とても楽しい時間を過ごせました。これからも、地域の方々に関わっていく中で、今井城学園を知って頂けたらいいなと思っています。よろしくお願い致します。



恵子

子どもは、親の温かい愛情のもとで家庭生活を経験しつつ育っていく事がもっとも望ましいのですが、家庭環境を奪われた子どもには家庭に替わる養育環境として、児童養護施設や里親という養育環境を社会が用意しました。しかし、児童養護施設の生活は集団生活が中心となり、なかなか個別の関わりが出来ておりません。そこで東京都は、児童養護施設にお預かりしている子どもを、夏休み・冬休みや土曜・日曜・祝日等の学校がお休みの期間に、ご都合の良い数日間お預かり頂いて家庭生活の経験出来ない子どもに、家庭生活を体験させて頂ける「フレンドホーム」という制度を設けております。フレンドホームの条件は、都内にお住まいの複数の家族構成（18歳以上が2人以上）のご家庭であり、申込者の年齢が25歳以上65歳までの健康な方、フレンドホーム期間中養育に専念出来る方がいること、子どもの送迎が出来る事としております。内容的には、日常の家庭生活を子どもに体験させることが大事なので、お預かり頂けるご家庭のご都合に合わせて下さって良いのです。交流開始前に2回程度施設を訪問して頂いて、子どもと面会を行って頂いた上でスタート致します。お預かり頂く子どもは、おおむね4歳～12歳の子どもが対象となります。子育てが終わった方でも、子育て中の方でも、家庭生活を体験できない子どもにそういうチャンスを与えられる・・・と言う方が居られたら、是非、是非、FSWまで声を掛けて頂けましたら、大変ありがたいです。気軽に足を運んで頂ける事を、お待ち申し上げます。

こころの窓

心理士 尾曾亮彦

こんにちは。今井城学園の尾曾です。今回は、今井城学園での心理士の役割についてご説明しました。今回は、『児童虐待』をキーワードに、お伝えしたいと思います。

昨今、『被虐待児』が急激に増加していることは、ニュース等で知られていることと思います。児童相談所の児童虐待相談対応件数も増加の一途をたどっています。全国の児童養護施設入所する被虐待児の割合は、6割と言われています。このような子どもたちに、どのような心理的ケアが可能でしょうか。

ギル (Gil,E) は、『修正的接近』と『回復的接近』を提唱しています。『修正的接近』は、子どもたちの生活の場における関わりです。生活の場に、心理士の視点を持ち込み、子どもを観察する・関わるだけでなく、子ども対子ども、子ども対職員の間を関係し、支援に役立てていきます。『回復的接近』のひとつとして挙げられるのは、プレイセラピーです。プレイセラピーにも様々な方法があります。子どもを受容し、安全な環境の中で、心理士との関係をつくっていく、子ども中心のプレイセラピーや、安全な環境の中でのトラウマの再演を通じて、それを理解していくポスト・トラウマティック・セラピーなどがあります。

これらが、児童養護施設における心理的ケアの考え方となっています。

今回は、児童養護施設における心理的ケアについて、考えてみました。第1号に引き続き、今回の第2号をお読みくださった方は、どのようなことが感じられたでしょうか？ご意見、ご感想、その他、今井城学園までお寄せいただくとありがたいです。それではまた次号でお会いしましょう。

レッツ・クッキング

栄養士 原口康子

今が旬の‘小松菜’を使った料理をご紹介します。小松菜にはカルシウムや鉄分が豊富に含まれているため、是非食べて貰いたい食材の一つですが、敬遠されがち。当学園でも煮浸しや和え物等ではあまり食べて貰えません。「何とか食べて貰いたい・・・」「ふりかけにしたら食べて貰えるかな・・・」で作ってみたら『ご飯がすすむ!!』と好評。ビタミンD が多く含まれている‘じゃこ’と一緒に食べるため、カルシウム吸収率がUP!!是非チャレンジしてみてください。

【作り方】4人分

| | |
|-------|--------------|
| 小松菜 | 160g (1/2束位) |
| じゃこ | 80g |
| 白いりごま | 15g (大さじ2杯弱) |
| ごま油 | 16g (大さじ1杯強) |

- ①小松菜をかために茹で0.3cmの幅で細かく切り、水気をきる。
- ②フライパンにごま油をひき、じゃこを炒める。
- ③②に小松菜を入れ2～3分炒め、白ごまを入れる。

※味付けはじゃこの塩分だけです。薄いようでしたらお塩や醤油で味を付けてください。(大根の葉でも美味しいです)



ピアノ講師 阿部真智子さん

はじめまして。ピアノボランティアでお伺いさせていただいております阿部真智子と申します。毎回楽しくレッスンさせていただいています。

音楽は聴いても、演奏しても、楽しくて、心を豊かにしてくれるものです。そんな音楽を通して学園のみなさんと関わることができてとてもうれしいです。これからも、たくさんの楽しさを一緒に共有していきたいと思っております。



学園からのお知らせ (〇)

来る3月20日火曜日(春分の日)は今井城学園の卒園式です。本学園からは高校を卒業する6人が巣立つ予定です。お忙しいこととは存じますが、関係者の皆様のご列席をお待ちしております。

編集後記 おかげさまで「今井城学園通信」2号を発行することができました。今号は本学園 嘱託医の鈴木先生にご寄稿をいただきました。これからも地域の皆様に今井城学園をより深く理解していただくことを目指して通信を発行していきたいと思っております。内容に関するご意見お問い合わせは、下記までお願い致します。

今井城学園 電話 0428-31-2277 e-mail info@imaijo.or.jp